

日本防災士会岩手県支部

第13回通常総会議案書・資料

令和3年7月24日

宮古市 イーストピアみやこ

## 1. 支部長挨拶

日本防災士会岩手県支部会員の皆様、この1年間、支部の活動にご協力いただき心から感謝申し上げます。

昨年の第12回通常総会は、新型コロナウイルス蔓延防止のために書面評決とさせて頂き、その後の第1回役員会において報告させていただきました。その後も新型コロナウイルスがますます蔓延し、収束する気配がないまま1年が過ようとしております。計画していた集合研修ができないままの状態が続き、活動もできる範囲にとどまってしまいました。

しかしその様な中でも、昨年10月29日にNHK盛岡放送局様と連携協定を締結することが出来ました。これは全国的な流れではありますが、岩手県支部として岩手県民の命を守るための広報活動に積極的に関わる第一歩となり、今後の各地区分会の活性化にもつながる大きな出来事となりました。今後は研修会等を重ね、報道に関わる活動も視野に入れていきたいと思っております。

そして今年度は、11月6日(土)・7日(日)に釜石市において「防災推進国民大会」(防災国体2021)が開催されます。その実行委員会に当岩手県支部も参加し、各種協力をさせていただいているところです。政令指定都市以外で開催される初めての防災国体になりますので、成功に導くお手伝いを岩手県支部会員の皆様もご協力をお願い致します。

さて、第13回通常総会もこのように書面による評決とさせていただく事になりました。非常に残念に思いますが、しかし全国的にワクチン接種が進み、今年度中には、今までのような対面での研修会などの活動ができる兆しが見えてきたことは喜ばしい限りです。

また、本総会は役員任期満了に伴い、新役員選任の総会になりますが、各地区分会長様にご案内したとおり、ご推薦いただいた理事の中から新役員を選任いたしましたので、ご承認いただきたいと思います。

もう間もなくすれば、今までどおりの活発な活動が、新役員のもとで行われるものと確信いたします。また会員の皆様とお会いし、意見を交換する機会が訪れることを祈念し、総会にあたってのご挨拶といたします。

日本防災士会 岩手県支部  
支部長 田村 忠夫

## 2. 議案内容

- (1) 第1号議案 令和2年度事業報告
- (2) 第2号議案 令和2年度収支報告及び会計監査報告
- (3) 第3号議案 令和3年度事業計画(案)について
- (4) 第4号議案 令和3年度収支予算(案)について
- (5) 報告 役員選任について

## 令和2年度日本防災士会岩手県支部事業報告

開催年月日	事業名	開催場所	備考
令和2年7月19日	第12回通常総会	宮古市 イーストピア アみやこ	
令和2年7月19日	第1回役員会	宮古市 イーストピア アみやこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK連携協定について</li> <li>・マイ・タイムライン研修会について</li> <li>・分会の会費について</li> </ul>
令和2年9月21日	第2回役員会	盛岡市 アイーナ	17名出席
令和2年10月9日	NHK担当デスクとの打合せ	NHK盛岡放送局	武藤事務局担当理事
令和2年10月29日	NHKとの連携協定締結	NHK盛岡放送局	田村支部長 守田副支部長 武藤事務局担当理事
令和2年11月28日	第3回役員会・NHK研修会	盛岡市 アイーナ	中止（コロナ蔓延防止）
令和3年4月8日	防災推進国民体会実行委員会	釜石市	田村支部長 武藤事務局担当理事
令和3年5月24日	第4回役員会（三役会議）	宮古市 イーストピア アみやこ	田村支部長・守田副支部長・清水上副支部長・山崎事務局長・武藤事務局担当理事
令和3年6月12日	第5回役員会（三役会議・会計監査）	宮古市 イーストピア アみやこ	支部長・副支部長・事務局長・事務局担当理事・会計担当理事・監事



## 令和 2 年度 収支報告

自：令和 2 年 4 月 1 日 至：令和 3 年 3 月 31 日

○ 収入の部

単位：円

項目	令和 2 年度予算額 (1)	令和 2 年度決算額 (2)	差額 (2-1)	備考
繰越金	324,661	324,661	0	
年会費	650,000	671,000	21,000	
協賛金	0	0	0	
總會・懇親会費	0	0	0	
活動協力金	156,000	160,800	4,800	
各種事業参加料	0	0	0	
補助金等	0	0	0	
利息	5	5	0	
寄付金	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
合計	1,130,666	1,156,466	25,800	

※1 年会費は、一般会員2,000円、準会員1,000円

※2 賛助会員の場合は-□5,000円

○ 支出の部

単位：円


項目	令和 2 年度予算額 (1)	令和 2 年度決算額 (2)	差額 (2-1)	備考
<b>總會費</b>	0	0	0	
總會・懇親会	0	0	0	
講師謝礼	0	0	0	
資料印刷代	0	0	0	
<b>広報活動</b>	106,000	105,960	-40	8,830円×12か月分
<b>通信費</b>	200,000	28,142	-171,858	
支部会報	0	0	0	
通信	200,000	28,142	-171,858	
<b>学習会・講演会</b>	100,000	0	-100,000	
<b>消耗品</b>	30,000	7,645	-22,355	
<b>備品費</b>	5,000	0	-5,000	
<b>事業費</b>	150,000	21,016	-128,984	
<b>事務局運営費</b>	453,000	206,090	-246,910	
事務局手当	0	0	0	
旅費交通費	450,000	205,650	-244,350	~第2回 205,650円
支払手数料	3,000	440	-2,560	
<b>会議費</b>	10,000	4,860	-5,140	
<b>負担金</b>	0	0	0	
<b>予備費</b>	76,666	0	-76,666	
合計	1,130,666	373,713	-756,953	

収入の部	支出の部	次年度繰越金
1,156,466	373,713	782,753

## 令和2年度監査報告

日本防災士会岩手県支部

支部長 田村 忠夫 様

監事 大和田 実 

監事 山根 登 

令和2年度における日本防災士会岩手県支部の収支において、  
関係書類及び貯金通帳に基づいて監査した結果、適正に処理・執行  
されていたことを認め、ここに報告します。

監査年月日 令和3年6月12日

## 令和3年度事業計画(案)

本支部は、平成21年7月25日に県内防災士の連携と減災活動の実践を目的として設立して以来、防災学習会・研修会などの活動を実施し、会員のスキルアップなどに務め、日本防災士会東北支部連絡協議会をはじめ東北各防災士会との連携に努めてまいりました。

この間、岩手・宮城内陸地震、東日本大震災、平成28年台風第10号、令和元年東日本台風による多大な被害を受け、全国的にも豪雨・地震災害など毎年どこかで大きな災害が発生している状況にあります。これらのことにより、防災・減災対策が常に見直され、我々を取り巻く環境も大きく変化し、また、「新しい公共財」として、防災士に対する地域からの期待は益々高まってきております。

このような状況にあり、近年は「3ちゃん防災」や「マイ・タイムライン」の普及などの特徴的な活動により、地域を巻き込みながら自前での講演活動等を実施してきたほか、昨年10月29日にはNHK盛岡放送局と防災・減災に関する「連携協定」を締結しました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策のため「新しい生活様式」の実践が取り組まれており、防災の観点からも重要な取り組みであります。

今後もこれらの活動を深め、実力を高めながら地域・行政・他団体等との連携を進め、さらなる活動の充実を図ってまいります。

### 1 会員相互の親睦及びネットワークの構築・管理

(1) メーリングリストやSNSなどを活用した、情報・意見交換の場を提供します。

(2) 防災サバイバルキャンプの企画などにより防災士としてのスキルアップに努めるとともに、会員相互の親睦を図ります。



## 2 会員の増強と日本防災士会等との連携

(1) 日本防災士会並びに日本防災士会東北支部連絡協議会（NPO 法人青森県防災士会、NPO 法人秋田県防災士会、NPO 法人防災士会みやぎ、山形県防災士会、NPO 法人福島県防災士会、日本防災士会岩手県支部）や、県内各市町村の防災士連絡協議会等との連携を密にするとともに、日本防災士会会員等への岩手県支部入会及び賛助会員の募集に努めます。

(2) 県内防災士講習の開催と連携した救命講習の企画に努めます。

## 3 防災士の知見、技術向上に役立つ行事の企画

(1) 防災・減災のための知見習得とその習熟を目的とした研修及び災害対応技能研修、日本防災士会及び教育機関や自治体・自主防災組織等との連携による各種の防災行事開催に努めます。

(2) 防災士のスキルアップを図るほか、地域での防災士活動を支援するため、資料等の製作及び企画に努めます。

## 4 日本防災士会岩手県支部の活動の周知と活性化

(1) 広報・事務局体制を強化しSNSの活用等により会員からの情報収集及び情報伝達を図るとともに、定期的な会報の発行に努めます。

(2) 地域防災力の向上に貢献するため、自主防災会の設立や地区防災計画の策定を支援するなど、自治体や自主防災会等との連携を推進します。また、防災関係機関との応援協定等の締結に努めます。

(3) 会員の災害ボランティア活動を支援するとともに、会員のスキルを活用した災害救援チームの結成を検討します。

(4) 大規模災害が発生した場合の災害救援本部の設置、日本赤十字社や社会福祉協議会等の災害ボランティア活動との連携を検討します。

## 令和 3 年度 収支予算 (案)

自: 令和 3 年 4 月 1 日 至: 令和 4 年 3 月 31 日

## ○ 収入の部

単位: 円

項目	令和 2 年度予算額 (1)	令和 3 年度予算額 (2)	差額 (2-1)	備考
繰越金	324,661	782,753	458,092	
年会費	650,000	650,000	0	
協賛金	0	0	0	
総会・懇親会費	0	0	0	
活動協力金	156,000	156,000	0	日本防災士会からの協力金
各種事業参加料	0	0	0	
補助金等	0	0	0	
利息	5	5	0	
寄付金	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
合計	1,130,666	1,588,758	458,092	

※1 年会費は、一般会員2,000円、準会員1,000円

※2 賛助会員の場合は一口5,000円

## ○ 支出の部

単位: 円

項目	令和 2 年度予算額 (1)	令和 3 年度予算額 (2)	差額 (2-1)	備考
総会費	0	20,000	20,000	
総会・懇親会	0	0	0	
講師謝礼	0	0	0	
資料印刷代	0	20,000	20,000	
広報活動	105,960	106,000	40	8,830 × # ヶ月
通信費	200,000	200,000	0	
支部会報	0	0	0	
通信	200,000	200,000	0	
学習会・講演会	100,000	200,000	100,000	
消耗品	30,000	30,000	0	
備品費	5,000	10,000	5,000	
事業費	150,000	480,000	330,000	分会事業費 (12分会40,000円)
事務局運営費	453,000	453,000	0	
事務局手当	0	0	0	
旅費交通費	450,000	450,000	0	
支払手数料	3,000	3,000	0	
会議費	10,000	20,000	10,000	
負担金	0	0	0	
予備費	76,666	69,758	-6,908	
合計	1,130,626	1,588,758	458,132	



【報告】 役員の選任について

	令和2年度	役職	令和3年度	担当理事
支部長	田村 忠夫	支部長	清水上 裕	
副支部長	菊池 司	副支部長	菊池 浩康	
	守田 敏正		守田 敏正	
	清水上 裕		荒屋敷 武則	
議員部会代表		理事(部会長)		
		理事		
盛岡地区分会	荒屋敷 武則	理事(分会長)	荒屋敷 武則	
	村上 正勝	理事	村上 正勝	企画
	小笠原 千永	理事	小笠原 千永	事務局
奥州地区分会	菅原 健一	理事(分会長)	菅原 健一	
	三浦 和洋	理事	三浦 和洋	事務局
花巻地区分会	阿部 政利	理事(分会長)	高橋 和夫	企画
	高橋 修	理事	高橋 修	
北上地区分会	高橋 利幸	理事(分会長)	高橋 利幸	
	菊池 輝昌	理事	菊池 輝昌	
遠野地区分会	菊池 浩明	理事(分会長)	菊池 浩明	
	道又 努	理事	道又 努	
一関地区分会	八島 隆一	理事(分会長)	菅原 三郎	企画
	高橋 隆	理事	高橋 隆	
	槻山 チエ	理事	槻山 チエ	ジェンダー
釜石地区分会	葛西 清志	理事(分会長)	松崎 博善	
	飛内 栄生	理事	飛内 栄生	
		理事	瀬戸 元	
宮古地区分会	山崎 正幸	理事(分会長)	武藤 元	事務局
	中島 勝也	理事	八木 恵理子	
	武藤 元	理事		
岩泉地区分会	畠山 克明	理事(分会長)	佐々木 英明	
	千葉 遙香	理事	佐々木 久幸	企画
大船渡地区分会	武蔵野 美和	理事(分会長)	武蔵野 美和	ジェンダー
	新沼 真弓	理事	新沼 真弓	ジェンダー
久慈地区分会	澤山 隆浩	理事(分会長)	佐々木 基之	
	大粒来 友和	理事	松橋 勉	
二戸地区分会	鈴木 一哉	理事(分会長)	鈴木 一哉	
	番澤 廣円	理事	番澤 廣円	
監事	山根 登	監事	菊池 俊文	
	大和田 実		館澤 忠弘	
事務局		事務局長	山崎 正幸	宮古
		事務局員	葛西 清志	盛岡
		事務局員	中島 勝也	宮古
	フロムいわて	事務局所	野田 尚樹	代表

※太斜字が新年度役員会のメンバーになります。